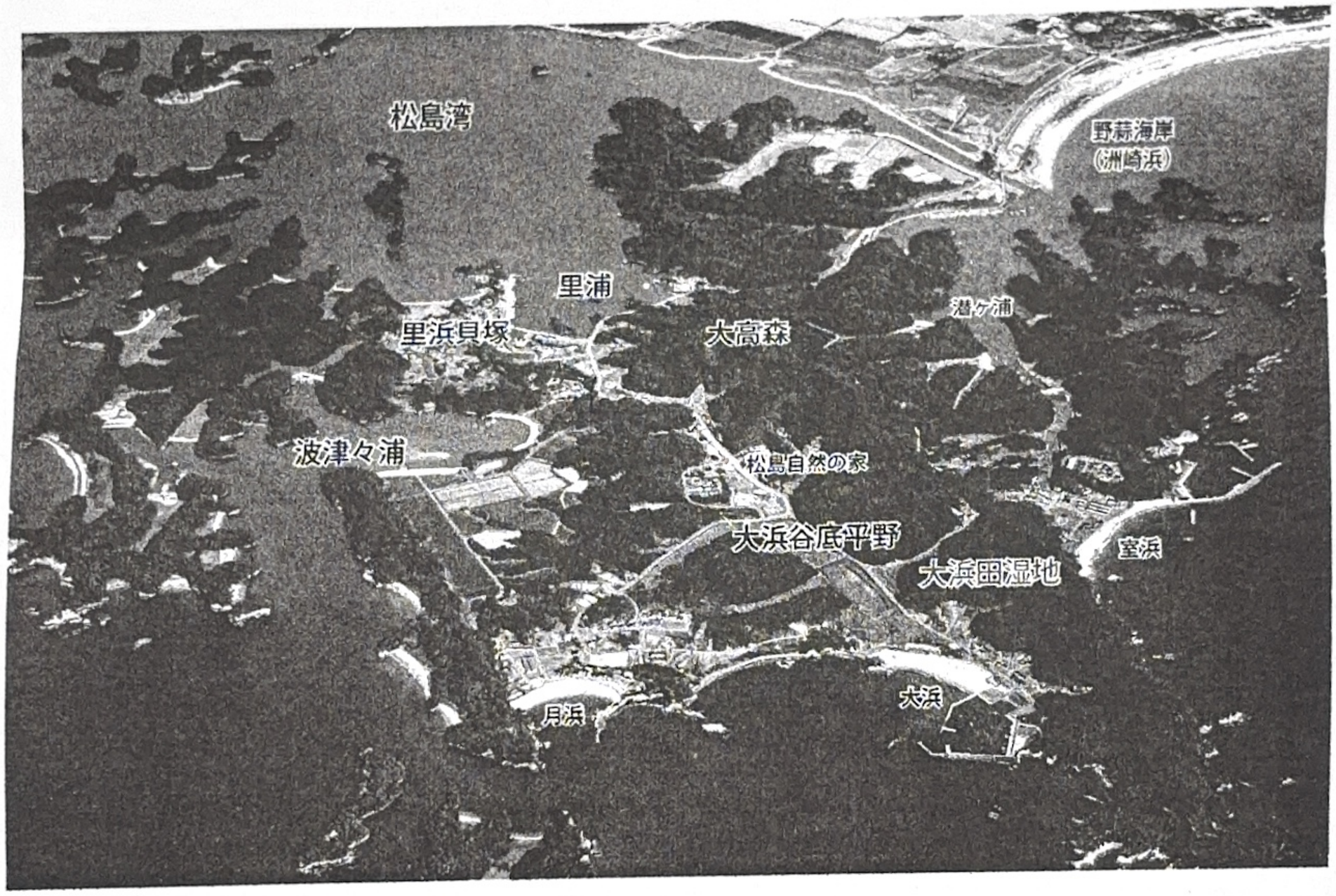
令和８年度　第1回郷土史講演会

# 「縄文から続く宮戸島の歴史

## ー里浜貝塚と大浜田湿地ー」




約 7000 年前の縄文時代前期から人々が暮らし始めた宮戸島は、長い年月での地形変遷、近現代の道路開発等により現在は陸続きですが、以前は本土から約 1.5km 離れた、東西約 4.5km、南北約 4.3km、周囲 12km 余、面積約 7.9k ㎡の孤島でした。貝塚分布からみた地形の変遷、宮戸島の災害履歴、里浜貝塚が明らかにした縄文人の暮らし、大浜田湿地の整備（大浜谷底平野のなりたちと土地利用の歴史）など、様々な角度で宮戸島の歴史と魅力を縄文村の元館長菅原氏からお聞きします！

**日　時**　令和８年７月４日(土)　午後２時～

**会　場**　野蒜市民センター　２階会議室

**講　師**　菅　原　弘　樹　氏

元奥松島縄文村歴史資料館館長（学芸員）

入場無料　どなたでも聴講できます。

主催：東松島市郷土史友の会